

# ESDの推進に向けた 文部科学省の取組について

文部科学省国際統括官付  
(日本ユネスコ国内委員会事務局)



## SDGsの実現に貢献する「持続可能な開発のための教育（ESD）」

### 持続可能な開発のための教育(ESD)とは

- ◆ 持続可能な社会の創り手を育むため、現代社会における地球規模の諸課題を自らに関わる問題として主体的に捉え、その解決に向け自分で考え、行動する力を身に付けるとともに、新たな価値観や行動等の変容をもたらすための教育。
- ◆ 国際理解、環境、文化多様性、人権、平和等の個別分野を持続可能な開発の観点から統合した分野横断的な教育。



ESDは、持続可能な社会の創り手の育成を通じ、SDGsのすべてのゴールの実現に寄与

2. 持続可能な開発のための教育は…(中略)…**質の高い教育に関する持続可能な開発目標に不可欠な要素であり、その他の全ての持続可能な開発目標の成功への鍵**であることを再確認する。  
国連総会決議 A/RES/74/223 (2020年1月)

【参考】SDGsのゴール4(教育)のうち、ターゲット4. 7

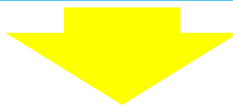
4.7 2030年までに、**持続可能な開発のための教育**及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。



# 持続可能な開発のための教育：SDGs実現に向けて (ESD for 2030)

## 「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム(GAP)」(2015年～2019年)

- **目標**: 持続可能な開発の進展を加速するための行動を起こし、拡大すること。
- **優先行動分野**: 特に下記の分野と戦略目標に焦点をあて行動をする。
  - ①政策的支援: ESDを教育と持続可能な開発に関する国際・国内政策へ反映
  - ②機関包括型アプローチ: すべてのレベル、場においてESDの機関包括型アプローチの促進
  - ③教育者: 教育者、トレーナー等の能力強化
  - ④ユース: 持続可能な開発のための変革を進めるユースへの支援
  - ⑤地域コミュニティ: ESDを通じた地域レベルでの課題解決策の探求を加速



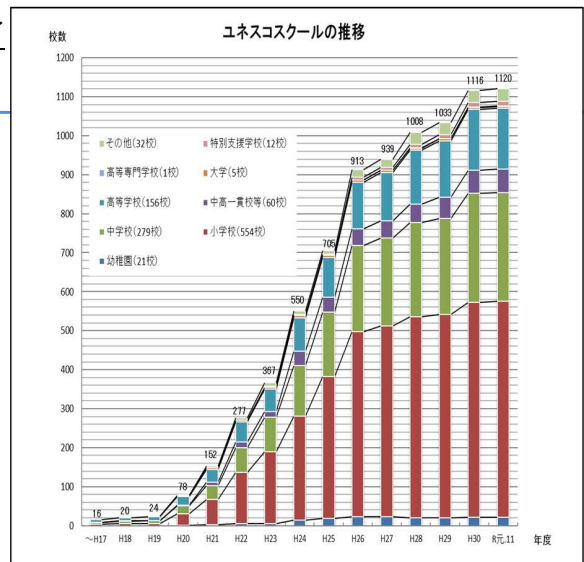
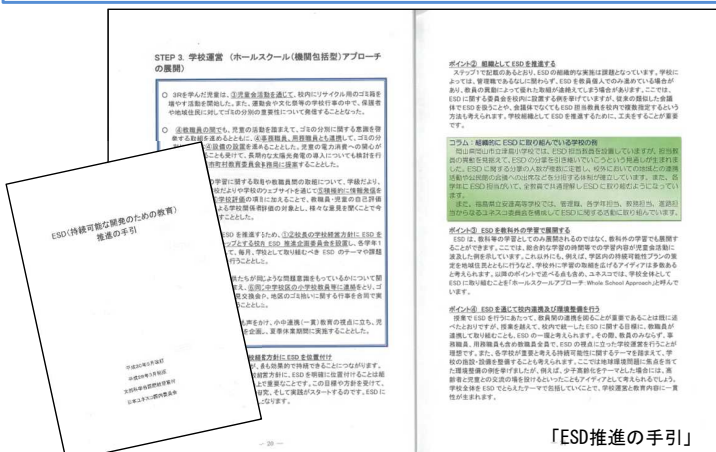
## 「持続可能な開発のための教育：SDGs実現に向けて(ESD for 2030)」(2020年～2030年)

- **目標**: ESDの強化とSDGsの17の全ての目標実現への貢献を通じて、より公正で持続可能な世界の構築を目指す。
- **特徴**: ①SDGsの17全ての目標実現に向けた教育の役割を強調
  - ②持続可能な開発に向けた大きな変革への重点化
  - ③ユネスコ加盟国によるリーダーシップへの重点化
- **優先行動分野**: GAPの優先行動分野は維持しつつ、これまでの教訓を踏まえて一部調整。
- **実施へのメカニズム**:
  - ①国レベルでのESD for 2030の実施(国内イニシアチブの設定)
  - ②パートナーシップ及び協働の効果的活用
  - ③行動に向けた普及活動
  - ④新たな課題や傾向の追跡
  - ⑤財政資源の動員
  - ⑥進捗モニタリング

## 各優先行動分野における主な取組

### 優先行動分野1 政策的支援

- ◆ 新学習指導要領や第3期教育振興基本計画において、ESDの目的である「持続可能な社会の創り手の育成」を記載。
- ◆ SDGs実施指針改定版及びSDGsアクションプランにおいてESDを明記。
- ◆ 「ESD推進の手引」を作成し、その普及に向けた研修等を実施。
- ◆ ユネスコスクールの加盟校数が1116校(2019年度)に増加。
- ◆ ユネスコエコパーク及びユネスコ世界ジオパーク登録地域におけるESD実践モデル開発の取組を支援。
- ◆ 国際的にESDの重要性を発信するためユネスコ/日本ESD賞を実施。



# 新学習指導要領や第3期教育振興基本計画における記載

ESDは、小学校から大学に至るまでのすべての教育段階において推進されており、新学習指導要領や第3期教育振興基本計画にもESDの目的である「持続可能な社会の創り手の育成」が掲げられている。

## 小中学校新学習指導要領(平成29年3月公示)

### 【前文】

これからの学校には、(中略)一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、**持続可能な社会の創り手となることができるように**することが求められる。

### 【第1章 総則】

第1 小学校(中学校)教育の基本と教育課程の役割

3 (前略)豊かな創造性を備え**持続可能な社会の創り手となる**ことが期待される児童(生徒)に、生きる力を育むことを目指すに当たっては、学校教育全体並びに各教科、道徳科、…総合的な学習の時間及び特別活動…の指導を通して、どのような資質・能力の育成を目指すのか明確にしなが、教育活動の充実を図るものとする。

## 第三期教育振興基本計画(平成30年6月閣議決定)

### 第2部 今後5年間の教育政策の目標と施策群

#### <主として初等中等教育段階における>

我が国が**ESDの推進拠点と位置付けているユネスコスクール**の活動の充実を図り、好事例を全国的に広く発信・共有する。また、(中略)**ESDの実践・普及**や学校間の交流を促進するとともに、**ESDの深化**を図る。これらの取組を通して、**持続可能な社会づくりの担い手を育む**。

#### <主として高等教育段階における>

地域の多様な関係者の協働による**ESDの実践を促進**するとともに、学際的な取組などを通じてSDGsの達成に資するような**ESDの深化**を図る。これらの取組を通して、地球規模課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む態度を身に付けた**持続可能な社会づくりの担い手を育む**。



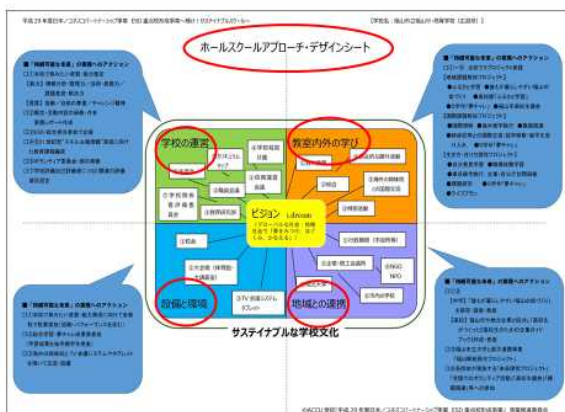
## 各優先行動分野における主な取組

### 優先行動分野2 機関包括型アプローチ

- ◆ 「ESD推進の手引」にホールスクールアプローチの推進を明記。
- ◆ ユネスコスクール全国大会において、ホールスクールアプローチをテーマとした分科会を開催し議論を実施。

### 優先行動分野3 教育者

- ◆ 「ESDの推進の手引」を活用し研修会等を実施。
- ◆ 海外の教職員を招へいし、日本のESDに関する好事例を視察する機会等を提供。また、我が国の教職員を海外に派遣しESDの推進に関する知見や経験の交換・共有等を実施。
- ◆ 「SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業」により、教師教育の推進を実施。



ユネスコスクール全国大会で紹介された  
ホールスクールアプローチ・デザインシート



海外教員招へいの様子

## 各優先行動分野における主な取組

### 優先行動分野4 ユース

- ◆ 信託基金による支援により、国連ハイレベルウィークにおけるサイドイベントを2019年に開催し、日本のユネスコスクールの生徒や大学生を含む世界のユースが参加。
- ◆ ユネスコスクール全国大会においてユースが参加・登壇するセッションを設定。
- ◆ 子供の「生きる力」を育むこと等を目的とし、子供農山漁村体験の取組に対する支援を関係省庁で連携し実施。
- ◆ 「SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業」により、ユース世代の活動支援を実施。

### 優先行動分野5 地域コミュニティ

- ◆ ASPUnivNetにおいて、地域におけるユネスコスクールの連携を深めるための地域ブロック大会の開催、研修会の実施、出前授業等を実施。



令和元年第11回ユネスコスクール全国大会においてユースが登壇している様子



国連ハイレベルウィークにおけるサイドイベント「持続可能な開発のための教育(ESD):気候変動アクションに向けた学び」の様子